

株 主 各 位

東京都渋谷区東三丁目9番19号  
トレンダーズ株式会社  
代表取締役社長 岡本 伊久男

## 第15回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、当社第15回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、平成27年6月25日（木曜日）午後6時までには到着するようお願い申し上げます。

敬 具

記

- |                 |  |
|-----------------|--|
| 1. 日 時          | 平成27年6月26日（金曜日）午後2時  |
| 2. 場 所          | 東京都目黒区下目黒一丁目8番1号<br>目黒雅叙園 4階『孔雀』   |
| 3. 目的事項<br>報告事項 | 1. 第15期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）<br>事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会<br>の連結計算書類監査結果報告の件<br>2. 第15期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）<br>計算書類報告の件 |

### 決 議 事 項

- |       |           |
|-------|-----------|
| 第1号議案 | 剰余金の処分の件  |
| 第2号議案 | 取締役5名選任の件 |

以 上

~~~~~  
◎当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付へご提出  
くださいますようお願い申し上げます。

◎次の事項につきましては、法令及び当社定款第14条の規定に基づき、インター  
ネット上の当社ウェブサイト (<http://www.trenders.co.jp/ir/>) に掲載してお  
りますので本招集ご通知の添付書類には記載しておりません。

- ① 連結計算書類「連結注記表」
- ② 計算書類「個別注記表」
- ◎株主総会参考書類並びに事業報告、計算書類及び連結計算書類に修正すべき事情が生じた場合は、上記の当社ウェブサイトに掲載させていただきます。

(添付書類)

## 事業報告

(平成26年4月1日から  
平成27年3月31日まで)

### 1. 企業集団の現況に関する事項

#### (1) 事業の経過及びその成果

インターネット関連業界においては、平成26年12月末現在のスマートフォン契約数比率は52.3% (株式会社MM総研調べ) まで拡大し、スマートフォン市場の急成長が続いており、2014年のスマートフォン広告市場規模は、3,008億円と前年比62%増と急成長しております。

また、インターネット広告市場においても、平成26年の市場規模は前年比12.1%増の1兆519億円 (株式会社電通調べ) と順調に拡大しております。

このような状況のもと、当社グループにおいては、引き続き大手顧客企業を中心としてソーシャルメディア及びマスメディアを連動させたPRプランニングサービスの提供に加え、市場成長の著しいスマートフォンの分野にて新しいマーケティングサービスに注力してまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は2,020,214千円 (前年同期比9.8%増)、営業利益は141,985千円 (同10.7%減)、経常利益は143,402千円 (同10.0%減)、当期純利益は60,835千円 (同28.9%減) となりました。

主な事業部門についての営業の概況は以下のとおりです。

| 事業別                | 売上高         | 構成比   |
|--------------------|-------------|-------|
| ソーシャルメディアマーケティング事業 | 1,799,562千円 | 89.1% |
| H & B C 事業         | 220,651     | 10.9  |
| 合計                 | 2,020,214   | 100.0 |

① ソーシャルメディアマーケティング事業

当セグメントにおきましては、スマートフォン及び動画関連サービスが堅調で、全体的に想定どおり推移した結果、当連結会計年度の売上高は、1,799,562千円（前年同期比7.3%増）、セグメント利益（営業利益）は506,216千円（同13.9%増）となりました。

② H&BC事業（ヘルス&ビューティケア事業）

当セグメントにおきましては、大手流通との取引が堅調に推移いたしましたが、上半期に返品調整引当金の見積額を超える返品を受けました。また、下半期におきましても、自社企画ブランドの新商品投入による売上及び利益の拡大を想定しておりましたが、立ち上がりが遅れ、既存商品の成長も鈍化いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は220,651千円（前連結会計年度比87.7%増）、セグメント損失（営業損失）は35,202千円（前年同期はセグメント利益9,233千円）となりました。

なお、平成27年4月17日付の取締役会において、全株式を譲渡する契約を締結することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、平成27年4月30日付で譲渡が完了いたしました。

## (2) 設備投資の状況

当連結会計年度における設備投資の総額は47,668千円で、その主な内容は、ソーシャルメディアマーケティング事業のスマートフォンアプリ「キニナルモン」、「ぼよたん」及び受注管理システムの機能追加に伴うソフトウェアの取得によるものであります。

なお、ソーシャルメディアマーケティング事業において当社サービスであるAmazeは、平成26年8月末日をもってwomediaにサービス統合いたしました。これに伴い、当連結会計年度において、今後使用見込みのないソフトウェアの減損損失8,118千円を計上しております。

## (3) 資金調達の状況

当連結会計年度において、新株予約権の行使請求に伴い、96,000株を発行し、24,055千円を調達いたしました。

## (4) 対処すべき課題

近年はソーシャルメディアやスマートフォンが急速に普及したことにより、マーケティングにも大きな変革の波が押し寄せています。そのような環境下において市場を切り開き、社会に新しい価値を提供すべく、当社は以下の課題に積極的に取り組んでまいります。

### (ア) マーケティングPRサービス

マーケティングPRサービスにおいては、引き続き市場を捉えた新しいサービスを開発し提供し続けることで、顧客企業及び協業パートナー企業との連携を強化し、収益率を重視したサービス展開を行ってまいります。

### (イ) メディア開発

訪日外国人観光客向けメディア「ZEKKEI Japan」においてさらなるユーザー獲得と認知拡大を図るとともに、新たな領域におけるパーティカルメディアの開発に努めてまいります。

### (ウ) 動画関連サービス

動画を制作するクリエイターのネットワーク、並びに動画を拡散するメディアのネットワークを強化することで、動画マーケティングの新たなソリューションを提供してまいります。

(エ) スマートフォン関連サービス

この度当社は、経営の意思決定と実行を早め、当社の戦略ドメインであるスマートデバイス領域における新たな事業展開を強化するために、スマートデバイスに特化したマーケティング戦略会社、株式会社Smarpriseを子会社として設立いたしました。これによりスマートフォンマーケティングにおけるノウハウをさらに蓄積し、売上の拡大を目指してまいります。

## (5) 財産及び損益の状況の推移

### ① 企業集団の財産及び損益の状況

| 区 分           | 第12期<br>(平成24年3月期) | 第13期<br>(平成25年3月期) | 第14期<br>(平成26年3月期) | 第15期<br>(当連結会計年度)<br>(平成27年3月期) |
|---------------|--------------------|--------------------|--------------------|---------------------------------|
| 売上高(千円)       | —                  | —                  | 1,839,236          | 2,020,214                       |
| 経常利益(千円)      | —                  | —                  | 159,323            | 143,402                         |
| 当期純利益(千円)     | —                  | —                  | 85,529             | 60,835                          |
| 1株当たり当期純利益(円) | —                  | —                  | 25.32              | 16.93                           |
| 総資産(千円)       | —                  | —                  | 1,932,615          | 2,038,929                       |
| 純資産(千円)       | —                  | —                  | 1,588,831          | 1,673,721                       |
| 1株当たり純資産額(円)  | —                  | —                  | 447.16             | 458.65                          |

(注) 1. 当社では、第14期より連結計算書類を作成しております。

2. 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により、1株当たり純資産額は期末発行済株式数により算出しております。

### ② 当社の財産及び損益の状況

| 区 分           | 第12期<br>(平成24年3月期) | 第13期<br>(平成25年3月期) | 第14期<br>(平成26年3月期) | 第15期<br>(当事業年度)<br>(平成27年3月期) |
|---------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------------------|
| 売上高(千円)       | 1,195,976          | 1,616,490          | 1,722,025          | 1,801,212                     |
| 経常利益(千円)      | 279,490            | 395,498            | 150,284            | 180,713                       |
| 当期純利益(千円)     | 155,183            | 248,948            | 79,962             | 102,438                       |
| 1株当たり当期純利益(円) | 33,553.12          | 82.46              | 23.68              | 28.51                         |
| 総資産(千円)       | 898,979            | 1,771,313          | 1,798,926          | 2,005,380                     |
| 純資産(千円)       | 581,313            | 1,463,681          | 1,583,264          | 1,709,757                     |
| 1株当たり純資産額(円)  | 125,689.37         | 441.53             | 445.59             | 468.53                        |

(注) 1. 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により、1株当たり純資産額は期末発行済株式数により算出しております。

2. 当社は、平成24年6月15日付で普通株式1株につき300株の割合で、また平成25年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、第13期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産額を算定しております。なお、過年度に当該株式分割が行われたと仮定して遡及修正を行った場合の1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産額は以下のとおりです。

| 区 分                      | 第12期<br>(平成24年3月期) |
|--------------------------|--------------------|
| 1 株 当 たり 当 期 純 利 益 ( 円 ) | 55.92              |
| 1 株 当 たり 純 資 産 額 ( 円 )   | 209.48             |

#### (6) 重要な子会社の状況

| 会 社 名       | 資 本 金    | 当社の議決権比率 | 主 要 な 事 業 内 容     |
|-------------|----------|----------|-------------------|
| 株式会社H & B C | 10,000千円 | 100.0%   | 化粧品企画、製造、販売及び輸出入等 |

(注) なお、平成27年4月17日付の取締役会において、全株式を譲渡する契約を締結することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、平成27年4月30日付で譲渡が完了いたしました。

#### (7) 主要な事業内容 (平成27年3月31日現在)

| 事 業                | 主 要 な 事 業 内 容                      |
|--------------------|------------------------------------|
| ソーシャルメディアマーケティング事業 | ソーシャルメディアを活用した企業のマーケティング・プロモーション支援 |
| H & B C 事 業        | 化粧品の企画、製造、販売及び輸出入等                 |

#### (8) 主要な営業所 (平成27年3月31日現在)

##### ① 当社

本社：東京都渋谷区東三丁目9番19号

##### ② 子会社

株式会社H & B C 本社：東京都渋谷区神宮前四丁目19番6号



(9) 使用人の状況（平成27年3月31日現在）

① 企業集団の使用人の状況

| 事業区分               | 従業員数 | 前連結会計年度末比増減 |
|--------------------|------|-------------|
| ソーシャルメディアマーケティング事業 | 81名  | 6名増         |
| H & B C 事業         | 8名   | 1名減         |
| 合計                 | 89名  | 5名増         |

(注) 従業員数は、就業人員であります。

② 当社の使用人の状況

| 従業員数 | 前期末比増減 | 平均年齢  | 平均勤続年数 |
|------|--------|-------|--------|
| 81名  | 6名増    | 29.7歳 | 2.6年   |

(注) 従業員数は、就業人員であります。

(10) 主要な借入先（平成27年3月31日現在）

① 当社

該当事項はありません。

② 子会社

| 会社名          | 借入先        | 借入額      |
|--------------|------------|----------|
| 株式会社 H & B C | トレンダーズ株式会社 | 92,000千円 |

## 2. 会社の株式に関する事項 (平成27年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 10,000,000株  
 (2) 発行済株式の総数 3,649,200株  
 (3) 株主数 1,943名  
 (4) 大株主 (上位10名)

| 株 主 名                       | 持 株 数    | 持 株 比 率 |
|-----------------------------|----------|---------|
| 岡 本 伊 久 男                   | 730,600株 | 20.02%  |
| 岡 本 香 保 子                   | 451,000  | 12.36   |
| 株 式 会 社 サ イ バ ー エ ー ジ ェ ン ト | 227,200  | 6.23    |
| R I P 2 号 R & D 投 資 組 合     | 116,800  | 3.20    |
| 株 式 会 社 S B I 証 券           | 109,800  | 3.01    |
| 日 本 証 券 金 融 株 式 会 社         | 107,200  | 2.94    |
| 石 川 幸 司                     | 103,900  | 2.85    |
| 小 野 寺 里 子                   | 100,600  | 2.76    |
| 飯 沼 克 博                     | 44,300   | 1.21    |
| 郭 翔 愛                       | 44,000   | 1.21    |

(注) 自己株式は所有しておりません。

### 3. 会社の新株予約権等に関する事項

#### (1) 当事業年度末日における新株予約権の状況

- ・新株予約権の数  
261個
- ・新株予約権の目的となる株式の種類及び数  
普通株式156,600株（新株予約権1個につき600株）
- ・取締役、その他の役員の保有する新株予約権の区分別合計

|     | 回次<br>(1株当たりの<br>行使価額) | 行使期間                      | 個数  | 保有者数 |
|-----|------------------------|---------------------------|-----|------|
| 取締役 | 第2回<br>(167円)          | 平成25年5月1日<br>～平成33年4月27日  | 60個 | 1名   |
|     | 第3回<br>(334円)          | 平成26年4月1日<br>～平成33年12月31日 | 25個 | 1名   |

#### (2) 当事業年度中に交付した新株予約権の状況

該当事項はありません。

## 4. 会社役員に関する事項

### (1) 取締役及び監査役（平成27年3月31日現在）

| 地 位       | 氏 名                     | 担当及び重要な兼職の状況                                                                                        |
|-----------|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 代表取締役社長   | 岡 本 伊 久 男               | ㈱H&BC代表取締役社長                                                                                        |
| 取 締 役     | 郭 翔 愛                   | コーポレートDiv. 担当                                                                                       |
| 取 締 役     | 影 山 由 美 子               | ソリューションDiv. 担当                                                                                      |
| 取 締 役     | 黒 川 涼 子<br>(戸籍名：佐々井 涼子) | クリエイティブDiv. 担当                                                                                      |
| 取 締 役     | 五 十 嵐 健                 | プロダクト&コミュニケーション<br>Div. 担当                                                                          |
| 取 締 役     | 赤 尾 雄 司                 | ソリューションDiv. 担当<br>㈱H&BC代表取締役副社長                                                                     |
| 常 勤 監 査 役 | 牧 田 真 由 美               | ㈱H&BC 監査役                                                                                           |
| 監 査 役     | 都 賢 治                   | 税理士<br>㈱アルタス代表取締役<br>㈱グロービス社外監査役<br>㈱チームスピリット社外取締役<br>㈱アイスタイル社外監査役                                  |
| 監 査 役     | 橋 岡 宏 成                 | 弁護士<br>㈱ゴルフダイジェスト・オンライン<br>社外取締役<br>㈱ユニテッドアローズ社外監査役<br>㈱エー・ピーカンパニー社外監査役<br>㈱アイフリークホールディングス社<br>外監査役 |

- (注) 1. 監査役 都 賢治氏及び監査役 橋岡 宏成氏は社外監査役であります。
2. 当社は、監査役 都 賢治氏及び監査役 橋岡 宏成氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、届け出ております。
3. 常勤監査役 牧田 真由美氏は、公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
4. 監査役 都 賢治氏は、税理士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
5. 当事業年度中に退任した取締役は次のとおりであります。

| 氏 名                       | 退 任 日      | 退 任 事 由 | 退任時の地位・担当及び重要な兼職の状況 |
|---------------------------|------------|---------|---------------------|
| 経 沢 香 保 子<br>(戸籍名：岡本 香保子) | 平成26年6月26日 | 任期満了    | 代表取締役会長             |
| 夏 野 剛                     | 平成26年5月20日 | 辞任      | 社外取締役               |
| 三 浦 玲 奈                   | 平成26年6月26日 | 辞任      | 常勤監査役               |

6. 平成27年4月1日付で取締役の担当を以下のとおり変更しております。

| 地位  | 氏 名                     | 新 担 当          | 旧 担 当          |
|-----|-------------------------|----------------|----------------|
| 取締役 | 郭 翔 愛                   | クリエイティブDiv. 担当 | コーポレートDiv. 担当  |
| 取締役 | 黒 川 涼 子<br>(戸籍名：佐々井 涼子) | コーポレートDiv. 担当  | クリエイティブDiv. 担当 |

## (2) 当事業年度に係る取締役及び監査役の報酬等の額

|                    | 人 数         | 報酬等の総額                 |
|--------------------|-------------|------------------------|
| 取 締 役<br>(うち社外取締役) | 8名<br>(1名)  | 91,900千円<br>(1,500千円)  |
| 監 査 役<br>(うち社外監査役) | 4名<br>(2名)  | 8,546千円<br>(3,200千円)   |
| 合 計<br>(うち社外役員)    | 12名<br>(3名) | 100,446千円<br>(4,700千円) |

- (注) 1. 取締役の支給額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。  
2. 上記の取締役の支給人員には、当事業年度中に退任した取締役2名(うち社外取締役1名)が含まれております。  
3. 上記の監査役の支給人員には、当事業年度中に退任した監査役1名が含まれております。  
4. 取締役の報酬限度額は、平成18年2月8日開催の臨時株主総会において年額200,000千円以内と定められております。  
5. 監査役の報酬限度額は、平成18年2月8日開催の臨時株主総会において年額30,000千円以内と定められております。

## (3) 社外役員等に関する事項

- ① 他の法人等の業務執行取締役等の兼職状況及び当社と当該他の法人等との関係  
監査役 都 賢治氏は、(株)アルタスの代表取締役であります。なお、当社と(株)アルタスとの間に特別の利害関係はありません。
- ② 他の法人等の社外役員等の兼任状況及び当社と当該他の法人等との関係  
監査役 都 賢治氏は、(株)チームスピリットの社外取締役であり、また(株)アイスタイル及び(株)グロービスの社外監査役であります。当社と(株)アイスタイルとは広告出稿取引があります。なお、当社と(株)チームスピリット及び(株)グロービスとの間に特別の利害関係はありません。

監査役 橋岡 宏成氏は、㈱ゴルフダイジェスト・オンラインの社外取締役であり、また㈱ユナイテッドアローズ、㈱エー・ピーカンパニー及び㈱アイフリークホールディングスの社外監査役であります。当社と㈱ゴルフダイジェスト・オンラインとは広告販売取引があります。なお、当社と㈱ユナイテッドアローズ、㈱エー・ピーカンパニー及び㈱アイフリークホールディングスとの間に特別の利害関係はありません。

③ 当事業年度における主な活動状況

|           | 出席・発言状況                                                                                                  |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 監査役 都 賢治  | 当事業年度に開催された取締役会19回のうち19回、監査役会13回のうち13回に出席し、主に税理士としての専門的見地から意見を述べるなど、取締役会及び監査役会における議案審議等に必要な発言を適宜行っております。 |
| 監査役 橋岡 宏成 | 当事業年度に開催された取締役会19回のうち16回、監査役会13回のうち11回に出席し、主に弁護士としての専門的見地から意見を述べるなど、取締役会及び監査役会における議案審議等に必要な発言を適宜行っております。 |

④ 責任限定契約の内容の概要

当社と各社外監査役とは、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。

当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令が規定する最低責任限度額であります。

⑤ 社外取締役を置くことが相当でない理由

当社は、従前より社外取締役の選任について検討しておりましたが、前回改選期には適切な候補者が見つからなかったことなどもあり、当事業年度末において社外取締役を置いておりません。

しかしながら、今般の会社法改正やその他の社会情勢の変化などを踏まえ、精力的に社外取締役の人選に努めましたところ適任者を得ることができましたので、平成27年6月26日開催予定の第15回定時株主総会に社外取締役候補者を含む取締役選任議案を上程いたします。

## 5. 会計監査人の状況

### (1) 会計監査人の名称

有限責任監査法人トーマツ

### (2) 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額

|                               |          |
|-------------------------------|----------|
| 当社の当事業年度に係る会計監査人としての報酬等の額     | 22,000千円 |
| 当社及び子会社が支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 22,000千円 |

(注) 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

### (3) 非監査業務の内容

該当事項はありません。

### (4) 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、株主総会に提出する会計監査人の解任又は不再任に関する議案の内容を決定いたします。

監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会におきまして、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。

## 6. 業務の適正を確保するための体制

会社の業務の適正を確保するための体制の整備に関する取締役会決議の内容の概要は以下のとおりです。（最終改定平成26年4月24日）

### ① 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する事項

株主総会議事録、取締役会議事録等の法定文書のほか、重要な職務執行に係る情報が記録された文書及び電磁的記録については、文書管理規程、個人情報保護規程等の社内規程に従い、適切に保存及び管理します。

### ② 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

コーポレートDiv. は、法令遵守やリスク管理についての徹底と指導を行います。また、代表取締役社長直轄の組織として内部監査室を設置し、組織横断的なリスクの状況把握、監視を行い、取締役会に対してリスク管理に関する事項を報告します。

取締役会又は経営会議にて、業務執行取締役その他の業務執行責任者から、業務執行に関する報告を適時に行います。

### ③ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

#### (ア) 各種社内会議体制の整備

取締役会は、毎月開催される定時取締役会のほか、必要に応じて臨時取締役会を速やかかつ柔軟に開催し、経営に関わる重要事項に関して迅速に意思決定を行い、職務執行を監督します。

取締役会のほか、取締役及び常勤監査役等からなる経営会議を原則として毎週開催し、業務執行、営業戦略等に関わる重要事項に関して慎重かつ多角的に検討、審議し、意思決定を行います。

#### (イ) 職務権限・責任の明確化

職務権限規程、業務分掌規程、稟議規程、稟議事項・決議決裁基準に基づき、適切に権限の委譲を行い、付与された権限に基づき適正かつ効率的な職務の執行が行われる体制を構築します。

### ④ 取締役及び使用人の職務の執行が法令・定款に適合することを確保するための体制

取締役及び使用人の職務執行のモニタリングを内部監査室が行い、必要に応じてコーポレートDiv. と連携して社内教育、研修を実施します。また、内部監査室は、内部通報規程に基づく内部通報制度を厳正に運用するとともに、監査役会と連携し、取締役及び使用人の職務の執行に関する状況把握、監査を定期的に行い、取締役会に報告します。



- ⑤ 株式会社並びにその親会社及び子会社からなる企業集団における業務の適正を確保するための体制  
当社の取締役または従業員を子会社の取締役の一部として派遣し、当該子会社における他の取締役の職務執行を監督します。  
当社において毎月開催される定時取締役会において、子会社の業績、経営計画及びその進捗状況等について、子会社の取締役から報告を行います。
- ⑥ 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項  
監査役会は、内部監査室所属の使用人に、監査業務に必要な補助を依頼することができます。
- ⑦ 前項の使用人の取締役からの独立性に関する事項  
補助者の人事異動につき、監査役会の意見を尊重するものとしております。
- ⑧ 取締役及び使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する事項  
取締役、コーポレートDiv. 及び内部監査室は、以下の重要事項を定期的に常勤監査役に報告するものとし、監査役会において、当該報告を提出します。
- 1) 重要な機関決定事項
  - 2) 経営状況のうち重要な事項
  - 3) 会社に著しい損害を及ぼすおそれのある事項
  - 4) 内部監査状況及びリスク管理に関する重要事項
  - 5) 重大な法令・定款違反
  - 6) その他、重要事項
- ⑨ その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制  
監査役会は業務執行取締役及び重要な使用人に対してヒアリングを実施することができるとともに、代表取締役社長、会計監査人、顧問弁護士と意見交換等を実施します。

---

(注) 本事業報告の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

## 連結貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目       | 金 額       | 科 目       | 金 額       |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| (資産の部)    |           | (負債の部)    |           |
| 流動資産      | 1,587,707 | 流動負債      | 348,366   |
| 現金及び預金    | 1,145,707 | 支払手形及び買掛金 | 135,885   |
| 受取手形及び売掛金 | 375,445   | 未払法人税等    | 42,738    |
| 商品及び製品    | 39,488    | ポイント引当金   | 14,057    |
| 仕掛品       | 8,275     | 返品調整引当金   | 6,915     |
| 繰延税金資産    | 9,476     | その他       | 148,769   |
| その他       | 13,939    |           |           |
| 貸倒引当金     | △4,625    |           |           |
| 固定資産      | 451,222   | 固定負債      | 16,841    |
| 有形固定資産    | 25,006    | 資産除去債務    | 16,841    |
| 建物及び構築物   | 56,373    |           |           |
| 減価償却累計額   | △35,177   |           |           |
| 工具、器具及び備品 | 22,284    |           |           |
| 減価償却累計額   | △18,474   | 負債合計      | 365,207   |
| 無形固定資産    | 70,907    | (純資産の部)   |           |
| ソフトウェア    | 38,821    | 株主資本      | 1,673,721 |
| その他       | 32,085    | 資本金       | 544,547   |
| 投資その他の資産  | 355,308   | 資本剰余金     | 523,547   |
| 投資有価証券    | 300,000   | 利益剰余金     | 605,626   |
| 敷金        | 50,136    | 純資産合計     | 1,673,721 |
| 繰延税金資産    | 5,172     |           |           |
| 資産合計      | 2,038,929 | 負債・純資産合計  | 2,038,929 |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結損益計算書

(平成26年4月1日から)  
(平成27年3月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目                         | 金      | 額         |
|-----------------------------|--------|-----------|
| 売 上 高                       |        | 2,020,214 |
| 売 上 原 価                     |        | 1,059,059 |
| 売 上 総 利 益                   |        | 961,154   |
| 返 品 調 整 引 当 金 繰 入 額         |        | 6,915     |
| 差 引 売 上 総 利 益               |        | 954,238   |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費         |        | 812,252   |
| 営 業 利 益                     |        | 141,985   |
| 営 業 外 収 益                   |        |           |
| 法 人 税 等 還 付 加 算 金           | 304    |           |
| 助 成 金 収 入                   | 2,436  |           |
| そ の 他                       | 305    | 3,046     |
| 営 業 外 費 用                   |        |           |
| 支 払 利 息                     | 1,541  |           |
| そ の 他                       | 88     | 1,629     |
| 経 常 利 益                     |        | 143,402   |
| 特 別 損 失                     |        |           |
| 固 定 資 産 除 却 損               | 2,760  |           |
| 減 損 損 失                     | 8,118  |           |
| リ ー ス 解 約 損                 | 1,008  | 11,887    |
| 税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益       |        | 131,515   |
| 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税     | 64,180 |           |
| 法 人 税 等 調 整 額               | 6,500  | 70,680    |
| 少 数 株 主 損 益 調 整 前 当 期 純 利 益 |        | 60,835    |
| 当 期 純 利 益                   |        | 60,835    |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書

(平成26年4月1日から)  
(平成27年3月31日まで)

(単位：千円)

|                     | 株 主 資 本 |         |
|---------------------|---------|---------|
|                     | 資 本 金   | 資本剰余金   |
| 平成26年4月1日残高         | 532,519 | 511,519 |
| 連結会計年度中の変動額         |         |         |
| 新株の発行<br>(新株予約権の行使) | 12,027  | 12,027  |
| 当期純利益               |         |         |
| 連結会計年度中の<br>変動額合計   | 12,027  | 12,027  |
| 平成27年3月31日残高        | 544,547 | 523,547 |

|                     | 株 主 資 本 |           | 純資産合計     |
|---------------------|---------|-----------|-----------|
|                     | 利益剰余金   | 株主資本合計    |           |
| 平成26年4月1日残高         | 544,791 | 1,588,831 | 1,588,831 |
| 連結会計年度中の変動額         |         |           |           |
| 新株の発行<br>(新株予約権の行使) |         | 24,055    | 24,055    |
| 当期純利益               | 60,835  | 60,835    | 60,835    |
| 連結会計年度中の<br>変動額合計   | 60,835  | 84,890    | 84,890    |
| 平成27年3月31日残高        | 605,626 | 1,673,721 | 1,673,721 |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# 貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目                   | 金 額              | 科 目             | 金 額              |
|-----------------------|------------------|-----------------|------------------|
| (資産の部)                |                  | (負債の部)          |                  |
| <b>流動資産</b>           | <b>1,494,571</b> | <b>流動負債</b>     | <b>278,781</b>   |
| 現金及び預金                | 1,106,425        | 買掛金             | 86,789           |
| 売掛金                   | 313,796          | 未払金             | 30,474           |
| 仕掛品                   | 8,275            | 未払費用            | 40,552           |
| 前払費用                  | 7,686            | 未払法人税等          | 42,703           |
| 1年内回収予定の<br>関係会社長期貸付金 | 52,000           | 未払消費税等          | 39,520           |
| 繰延税金資産                | 9,476            | 前受金             | 7,722            |
| その他                   | 1,537            | 預り金             | 16,961           |
| 貸倒引当金                 | △4,625           | ポイント引当金         | 14,057           |
| <b>固定資産</b>           | <b>510,808</b>   | <b>固定負債</b>     | <b>16,841</b>    |
| <b>有形固定資産</b>         | <b>24,593</b>    | 資産除去債務          | 16,841           |
| 建物                    | 56,373           |                 |                  |
| 減価償却累計額               | △35,177          |                 |                  |
| 工具、器具及び備品             | 21,657           | <b>負債合計</b>     | <b>295,622</b>   |
| 減価償却累計額               | △18,260          |                 |                  |
| <b>無形固定資産</b>         | <b>62,454</b>    | (純資産の部)         |                  |
| のれん                   | 7,484            | <b>株主資本</b>     | <b>1,709,757</b> |
| ソフトウェア                | 37,826           | 資本金             | 544,547          |
| その他                   | 17,142           | 資本剰余金           | 523,547          |
| <b>投資その他の資産</b>       | <b>423,761</b>   | 資本準備金           | 523,547          |
| 投資有価証券                | 300,000          | 利益剰余金           | 641,662          |
| 関係会社株式                | 30,000           | その他利益剰余金        | 641,662          |
| 関係会社長期貸付金             | 40,000           | 繰越利益剰余金         | 641,662          |
| 敷金                    | 48,588           |                 |                  |
| 繰延税金資産                | 5,172            | <b>純資産合計</b>    | <b>1,709,757</b> |
| <b>資産合計</b>           | <b>2,005,380</b> | <b>負債・純資産合計</b> | <b>2,005,380</b> |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# 損 益 計 算 書

(平成26年4月1日から)  
(平成27年3月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目                   | 金      | 額         |
|-----------------------|--------|-----------|
| 売 上 高                 |        | 1,801,212 |
| 売 上 原 価               |        | 917,600   |
| 売 上 総 利 益             |        | 883,611   |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費   |        | 705,517   |
| 営 業 利 益               |        | 178,094   |
| 営 業 外 収 益             |        |           |
| 受 取 利 息               | 976    |           |
| 法 人 税 等 還 付 加 算 金     | 304    |           |
| 助 成 金 収 入             | 2,436  |           |
| そ の 他                 | 204    | 3,922     |
| 営 業 外 費 用             |        |           |
| 支 払 利 息               | 1,215  |           |
| そ の 他                 | 88     | 1,303     |
| 経 常 利 益               |        | 180,713   |
| 特 別 損 失               |        |           |
| 固 定 資 産 除 却 損         | 2,760  |           |
| 減 損 損 失               | 8,118  |           |
| リ ー ス 解 約 損           | 1,008  | 11,887    |
| 税 引 前 当 期 純 利 益       |        | 168,825   |
| 法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税 | 64,107 |           |
| 法 人 税 等 調 整 額         | 2,279  | 66,387    |
| 当 期 純 利 益             |        | 102,438   |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書

(平成26年4月1日から)  
(平成27年3月31日まで)

(単位：千円)

|                     | 株 主 資 本 |           |         |
|---------------------|---------|-----------|---------|
|                     | 資 本 金   | 資 本 剰 余 金 |         |
|                     |         | 資本準備金     | 資本剰余金合計 |
| 平成26年4月1日残高         | 532,519 | 511,519   | 511,519 |
| 事業年度中の変動額           |         |           |         |
| 新株の発行<br>(新株予約権の行使) | 12,027  | 12,027    | 12,027  |
| 当期純利益               |         |           |         |
| 事業年度中の変動額合計         | 12,027  | 12,027    | 12,027  |
| 平成27年3月31日残高        | 544,547 | 523,547   | 523,547 |

|                     | 株 主 資 本   |         |           | 純資産合計     |
|---------------------|-----------|---------|-----------|-----------|
|                     | 利 益 剰 余 金 |         | 株主資本合計    |           |
|                     | その他利益剰余金  | 利益剰余金合計 |           |           |
|                     | 繰越利益剰余金   |         |           |           |
| 平成26年4月1日残高         | 539,224   | 539,224 | 1,583,264 | 1,583,264 |
| 事業年度中の変動額           |           |         |           |           |
| 新株の発行<br>(新株予約権の行使) |           |         | 24,055    | 24,055    |
| 当期純利益               | 102,438   | 102,438 | 102,438   | 102,438   |
| 事業年度中の変動額合計         | 102,438   | 102,438 | 126,493   | 126,493   |
| 平成27年3月31日残高        | 641,662   | 641,662 | 1,709,757 | 1,709,757 |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結計算書類に係る会計監査報告

### 独立監査人の監査報告書

平成27年5月13日

トレンダーズ株式会社

取締役会 御中

#### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 吉 村 孝 郎 ㊞

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山 本 恭仁子 ㊞

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、トレンダーズ株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

#### 連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。



監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、トレンダーズ株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 強調事項

重要な後発事象に関する注記(3)に記載されているとおり、会社は平成27年4月17日に完全子会社である株式会社H&BCの全株式を譲渡する株式譲渡契約を締結し、同社は翌連結会計年度より連結子会社から除外される。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 計算書類に係る会計監査報告

### 独立監査人の監査報告書

平成27年5月13日

トレンダーズ株式会社

取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 吉 村 孝 郎 ㊞

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山 本 恭仁子 ㊞

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、トレンダーズ株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの第15期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

#### 計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監査役会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの第15期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査室その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。また、事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実認められません。
- 三 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成27年 5月21日

トレンダーズ株式会社 監査役会  
監査役(常勤) 牧 田 真由美 ㊟  
監査役 都 賢 治 ㊟  
監査役 橋 岡 宏 成 ㊟

(注) 監査役都賢治及び監査役橋岡宏成は、社外監査役であります。

以 上

# 株主総会参考書類

## 第1号議案 剰余金の処分の件

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つであると認識しており、企業体質の強化と将来の事業展開のために内部留保を確保しつつ、配当を実施していくことを基本方針としております。

上記方針に基づき、当期の期末配当につきましては、当期の業績及び今後の事業展開等を勘案いたしまして、以下のとおりといたしたいと存じます。

(1) 配当財産の種類

金銭といたします。

(2) 配当財産の割当てに関する事項及びその金額

当社普通株式1株につき金7円といたしたいと存じます。

なお、この場合の配当総額は25,544,400円となります。

(3) 剰余金の配当が効力を生じる日

平成27年6月29日といたしたいと存じます。

## 第2号議案 取締役5名選任の件

取締役全員（6名）は、本株主総会終結の時をもって任期満了となります。

経営の意思決定及び監督機能と業務執行機能の責任区分を明確化し、コーポレートガバナンスをより強化するため、常務執行役員制度を導入いたしました。また、新たに社外取締役1名を登用し、取締役5名（うち社外取締役1名）の選任をお願いいたしたいと存じます。

取締役候補者は次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)                      | 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 所有する当社の株式の数 |
|-------|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 1     | おかもと いくお<br>岡本伊久男<br>(昭和45年1月28日) | 平成9年10月 株式会社シーアイエー入社<br>平成12年7月 株式会社マクロミル入社、執行役員就任<br>平成13年4月 同社取締役就任<br>平成15年9月 同社取締役CFO就任<br>平成19年5月 当社顧問就任<br>平成20年10月 株式会社メディアフラッグ非常勤監査役就任<br>平成21年9月 株式会社マクロミル常勤監査役就任<br>平成22年6月 当社監査役就任<br>平成23年3月 当社社外取締役就任<br>平成23年10月 当社取締役事業企画グループ担当就任<br>平成24年2月 当社取締役クリエイティブグループ担当就任<br>平成25年4月 当社取締役ソリューションDiv.担当就任<br>平成25年11月 株式会社H&BC代表取締役社長就任<br>平成26年5月 当社代表取締役社長就任<br>(現任)<br>平成27年4月 株式会社Smarprise取締役就任<br>(現任) | 730,600株    |

| 候補者<br>番号 | 氏名<br>(生年月日)                          | 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 所有する当社の株式の数 |
|-----------|---------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 2         | かく さん え<br>郭 翔 愛<br>(昭和53年7月29日)      | <p>平成14年4月 三井物産株式会社入社</p> <p>平成19年6月 当社入社</p> <p>平成19年10月 当社クリエイティブグループゼネラルマネージャー就任</p> <p>平成22年6月 当社取締役経営管理グループ担当就任</p> <p>平成25年4月 当社取締役コーポレートDiv. 担当就任</p> <p>平成27年4月 当社取締役クリエイティブDiv. 担当就任(現任)</p>                                                                                                                                      | 44,000株     |
| 3         | かげ やま ゆ み こ<br>影 山 由美子<br>(昭和46年8月1日) | <p>平成6年11月 株式会社大阪有線放送社(現株式会社USEN)入社</p> <p>平成9年11月 WEBプランナー兼デザイナーとして独立</p> <p>平成17年1月 有限会社クラリティ・アソシエイツ設立 代表取締役就任</p> <p>平成19年2月 株式会社クラリティ・アソシエイツに組織変更 代表取締役就任</p> <p>平成24年3月 当社入社 クリエイティブグループWEB開発セクション執行役員就任</p> <p>平成24年6月 当社取締役クリエイティブグループWEB開発セクション担当就任</p> <p>平成25年4月 当社取締役クリエイティブDiv. 担当就任</p> <p>平成26年6月 当社ソリューションDiv. 担当就任(現任)</p> | 12,000株     |



| 候補者番号  | 氏名<br>(生年月日)                                   | 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 所有する当社の株式の数 |
|--------|------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 4      | くろかわりょうこ<br>黒川涼子<br>(戸籍名:佐々井涼子)<br>(昭和49年9月3日) | 平成9年4月 株式会社東京スタイル入社<br>平成12年10月 テンプスタッフ株式会社入社<br>平成16年9月 ドクターカナコ株式会社入社<br>平成18年8月 当社入社<br>平成22年4月 当社クリエイティブグループゼネラルマネージャー就任<br>平成22年6月 当社取締役クリエイティブグループ担当就任<br>平成23年12月 当社取締役キレナビセクション担当就任<br>平成24年2月 当社取締役キレナビグループ担当就任<br>平成24年7月 当社キレナビグループ執行役員就任<br>平成25年2月 当社クリエイティブDiv. 執行役員就任<br>平成26年6月 当社取締役クリエイティブDiv. 担当就任<br>平成27年4月 当社取締役コーポレートDiv. 担当就任 (現任)<br>平成27年4月 株式会社Smarprise取締役就任 (現任) | 19,000株     |
| ※<br>5 | いち はら やす ひこ<br>市原泰彦<br>(昭和50年9月12日)            | 平成11年4月 日本電子計算株式会社入社<br>平成13年7月 株式会社マクロミル入社<br>平成17年1月 同社執行役員就任<br>平成19年9月 同社取締役 経営企画室長 兼 ネットリサーチ総研担当就任<br>平成23年9月 同社常勤監査役就任<br>平成25年11月 株式会社LIVELY 代表取締役社長就任 (現任)                                                                                                                                                                                                                           | 1,400株      |

- (注) 1. ※印は、新任取締役候補者であります。  
2. 取締役候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。  
3. 市原泰彦氏は、社外取締役候補者であります。  
4. 市原泰彦氏は会社の経営に長年にわたって携わられる中で培った会社経営に関する知識と経験から、適切な助言を得られると判断したため、取締役としての職務を適切に遂行していただけるものと判断し、選任をお願いするものであります。なお、同氏の

選任が承認された場合、株式会社東京証券取引所が定める独立役員となる予定であります。

5. 社外取締役候補者の市原泰彦氏の選任が承認された場合、当社は会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結する予定であります。なお、当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令が規定する最低限度額であります。

以 上

メ モ

A series of 20 horizontal dashed lines for writing.

# 株主総会会場ご案内図

会場 東京都目黒区下目黒一丁目8番1号  
目黒雅叙園 4階『孔雀』  
電話 (03) 3491-4111 (代表)



## <交通のご案内>

JR山手線・東急目黒線・東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線  
目黒駅より徒歩5~8分 (建物入口より会場まで徒歩3~5分)